

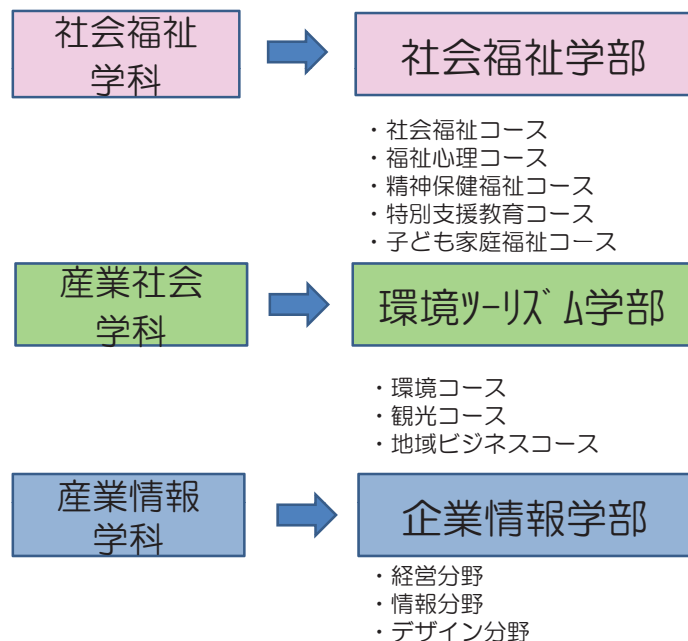
長野大学の地域貢献の取り組み



長野大学地域連携センター長
安井幸次

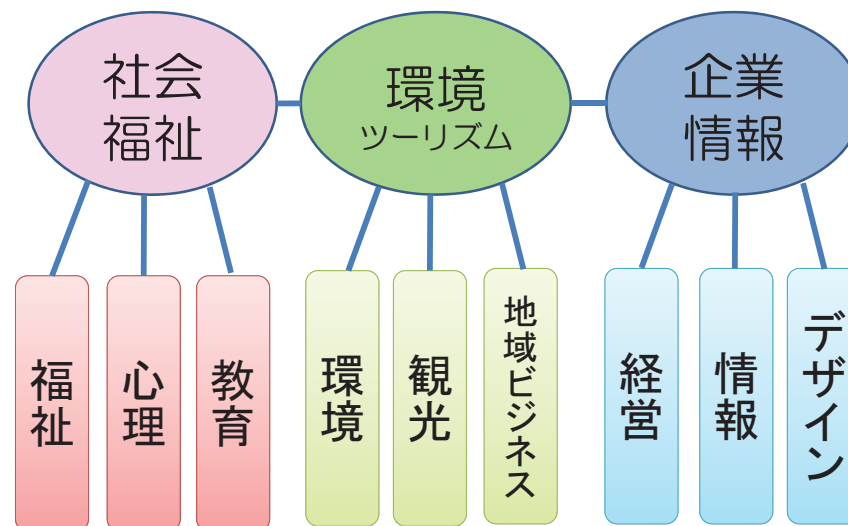
長野大学の歩み

- 1966(S41)年
本州大学・経済学部として設立
塩田町(現上田市)が設立資金と大学用地を提供
(公設民営型大学)
- 1974(S49)年
長野大学・産業社会学部
(社会福祉学部・産業社会学科)に改組
- 1988(S63)年
産業情報学科を増設



一万二千人の卒業生を
社会に送り出してきた

3学部と9分野

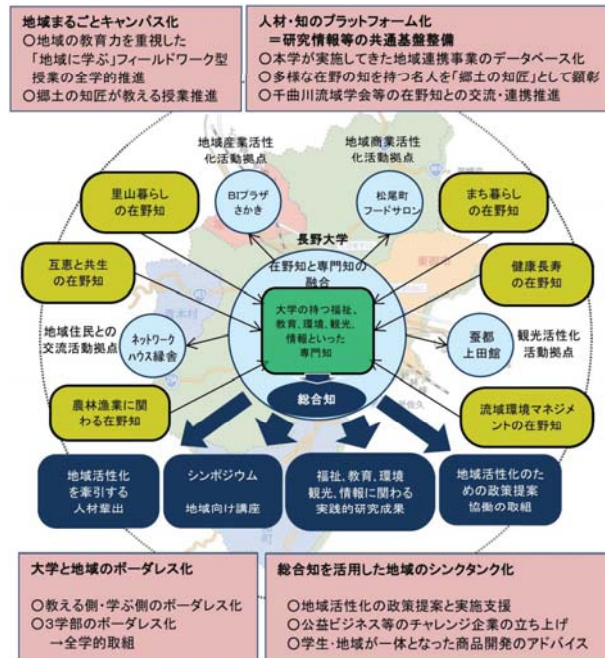


地域との関わり

- 1979(S54)年:「現地居住」を教員採用の条件化
 - 1982(S57)年以降、長野大学公開講座を年2回のペースで開催
 - 1993(H5)年:生涯学習センターを設立
 - 2006(H18)年:地域連携センターに改組
- ※市民開放講座に市民の参加を呼び掛ける“受け身”の姿勢⇒地域に積極的に出ていく、という方針
 転換⇒自治体との連携協定、高大連携協定の締結

地域連携の分野

- フィールドワーク型の教育活動をととした連携
- 市民開放講座の開催
- 自治体等の委員派遣、講師派遣
- 自治体等との共同企画の学習会等
- インターンシップをととした企業・自治体・NPO・福祉施設等との連携
- 学生の地域ボランティア



今後の取り組み

在野知と専門知の融合による
 地域活性化のための教育拠点づくり

「地域まるごとキャンパス化」＝
 「地域に学ぶ」フィールドワーク型の教育の充実

グローバル化を見据えながら「地域社会」に焦点
 を定めて、地域を支える人材を育成

ご清聴ありがとうございました

